

< 介護・医療連携推進会議における評価 > ※公表用 R3年度

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	事業所名	こぶし 24 時間ケアサービスステーション三和
所在地	(〒 940 - 1151) 新潟県長岡市三和3丁目138番地2		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

24 時間 365 日営業。住み慣れた地域の中で築き上げた暮らしを支えていく。
情報共有にはタブレットを使用し、多職種連携にも活用している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021 年 12 月 10 日	従業者等自己評価 実施人数	(7) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】 新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、推進会議を開催せず書面にて対応とした。

実施予定日	西暦 2022 年 1 月 31 日	メンバー人数 (合計)	(18) 人	※自事業所職員を含む
照会人数 (内訳)	■自事業所職員 (5人) ■市町村職員 (1人) ■地域包括支援センター職員 (1人) ■地域住民の代表者 (1人) ■利用者 (1人) ■利用者の家族 (1人) ■知見を有する者 (3人) ■医療従事者 (5人) ■その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別研修は来年度も各自、目標を持って進めて行くように計画を立ててもらい、コロナ禍でもリモート化での研修が見られるようになったので参加できるように取り組む。 ・個々のカンファレンスを毎月行うように計画に入れて行く。 ・災害時の避難訓練の参加、設備の確認、災害時のマニュアルの見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修に参加する機会が少なかったが書面やリモート、動画視聴などで工夫した所もあった。今できる事を行っていく事が大切。 ・毎月個々のカンファレンスを行う。 ・事業所の理念の再確認を行った。 ・他事業所との担当者会議が照会での対応が多かったため、小まめに連絡を取る様にした。 ・避難訓練の参加は出来なかったが、書面にて確認をしてもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集まって研修を行う事だけでなく、動画視聴等で工夫して行えてよかった。 ・毎月の個々のカンファレンスは行った。 ・フェニックスネットで連携が出来ている居宅とはコメントとのやり取り、連絡を小まめに取った。 ・避難訓練の実施が難しかった。コロナ禍の中集まって訓練が出来なかったため資料の確認、口頭で伝える形になった。 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に(毎月の事業所カンファレンス時に)援助内容の見直しを行い、統一したケア、より良いサービスに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統一したケアの見直し、再確認の利用者の手順書の見直しを行った。職員同士確認し合い、事業所のミーティングの際にも話し合い、統一した援助が出来ているか確認をしていく。 ・どうしても職員間の力量の差が出てきてしまうので、申し送りや出来る時は同行訪問も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のミーティング時に援助内容の確認、見直しを行った。改善をすべき点を検討し改善した。ケアマネにもその都度連絡を入れ確認を行った。 ・援助の見直しは、個人差が出ない様統一する様にミーティング時に周知する様にした。
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もフェニックスネット等を通じしっかりと情報提供を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議が開催出来ない中であつたが小まめに連絡を入れる様に対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェニックスネットを活用し日々の様子を伝えていった。 ・小まめに連絡を入れて、信頼関係を築く様心掛けていく。 	

	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28~32)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過で活動の制限があるが、地域に根付いたサービスになるよう工夫が必要。パンフレット等を活用して出来る事を行っていく。 	<p>コロナ過でもできる事を考えて行かなくてはならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットなど地域に発信する事等活動が出来なかった。 ・推進会議が書面のみで開催になり、改めて顔の見える関係、環境を大切にしたいと思った。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33~34)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者、ご家族から感謝の言葉を頂いた。個人のスキルアップに努め求められる選ばれるサービスになる様に事業所として取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者ご家族から自宅で過ごせる事ができて良かった。いつも小まめに訪問してもらい助かっている。等お言葉を頂いた。事業所として丁寧なケアに心がけた。 ・自宅での看取りを希望されている方もおり、他のサービスと連携を密に取り援助をさせて頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナル対応の方がいられ、身体の事だけでなく、ご本人、ご家族の気持ち、話を傾聴したり、定期随時の特徴でもある柔軟な訪問をし、寄り添援助が出来るように、訪問看護とも連携をしながら対応に努めた。 ・

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
<p>I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別計画にそって各々進める事はできていたと思う。 ・年間事業計画書は計画通りに行かない事が多かった。地域交流、啓蒙活動を上げていたが、コロナ過や時間的余裕がなくでなかった。パンフレットなど出来る事を工夫して行きたい。 ・災害だけでなく、感染症の正しい対策を見につけ、直ぐに対応出来るようにする。 ・災害時等の避難訓練をセンター内で行っているが職員全員が設備などしっかりと把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念に基づき、しっかりと理解する事によりよい良い選ばれるサービスに繋げる。 ・コロナ禍での研修が続く中での工夫をしていき、援助に繋げ質の向上に努める。 ・災害、感染対策がしっかりと身につけているのか、マニュアルの見直し、振り返りを行う。 	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～21)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の追加訪問、体調不良時の追加訪問も臨機応変に対応した。今後も利用者の状態に合わせて対応して行きたい。 ・利用者の状態、意欲の引出しに心掛けていた、独居の方が多く、共に行う事で、生活、心身機能の維持、楽しみに繋げていった。 ・個々の手順書を見直す事により、再確認ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に手順書の見直しを行っていき、引き続き、援助の統一に努める。個々に担当ご利用者の援助内容の確認を行い、ミーティング時に、検討、周知を行う。 ・身体援助だけではなく、その方の生活の質の向上にも着目して行く。小さい気づきを大切にする。 ・

	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 22～27)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議は出来ない事があったがその中でもフェニックスネット、電話連絡での連携を小まめに行う様にした。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所との連携を密にし情報共有に努めて行く。
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 28～32)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で出来る事を工夫して、パンフレット、広報誌等検討する必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三和地区に定期随時サービスがある。と少しでも認識して頂ける様に、パンフレットの配布やセンターにいつでも閲覧できるように工夫する。 ・地域の集まりにも参加したい。
<p>Ⅲ. 結果評価 (評価項目 33～34)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用、ご家族から暖かいお言葉を頂き、お一人お一人に寄り添った援助が出来たと思う。 ・ターミナルの方は今までもいられたが、ご利用者の方がらしく暮らし、最後までご家族と共にいられる様に、他職種と連携を取り支えていきたい。 ・基本を大切にサービス質の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者がいつまでも住み慣れた地域、自宅で過ごされる様、またご利用者、ご家族から選ばれる事業所になる様、個々のスキルアップ、寄り添う援助、支援させて頂く。 ・今後もターミナルケアについて、個々に合わせた対応、援助を考え、寄り添う援助に繋げていく。

※自己評価・介護・医療連携推進会議における評価の総括を記載します